

2023 年度 報告書



青山学院大学保健管理センター

巻頭言

保健管理センター副所長 小菌 康範

2023 年秋に本学学生が結核症を発病し、2024 年初頭に定期外検診(接触者検診)を行った旨を 2024 年の運営委員会で報告したところ、多数の質問・ご意見をいただいた。そのため、今後の参考ともなるよう、結核について少し整理してみた。

2023 年度定期外検診

本学学生 A が 2023 年秋に発熱と咳を自覚した後、結核(ガフキー2 号)の疑いで入院となった。入院同日保健管理センターが保健所に連絡をして対応を協議した。学生 A への聞き取り調査は保健所が行い、本学は「学生 A の使用施設の見取り図(窓の位置や空気清浄機の有無)」、「夏以降の学生 A の出席状況と出席講義の受講者名簿」、「所属サークルの名簿」の準備を保健所から指示された。年末に保健所が本学に立ち入り調査を行った後、保健所より定期外検診の対象者の選定結果(両キャンパス合計 64 名)が連絡された。2024 年 1 月下旬に定期外検診を学内で実施し、その未受検者 17 名については引き続き学外検診を実施した。2024 年 6 月 12 日時点で各キャンパス 1 名ずつ計 2 名が未受検だが、これまでのところ新たな感染者を認めていないため、保健所としては終息とのことである。なお、学生 A は現在、月 1 回の通院以外は普通に学生生活を営んでいる。

結核について

結核は、結核菌による感染症で、主に肺で菌が増えるため、咳、痰、発熱などの症状を示すことが多い。

世界では 20 億人が感染しており、2022 年には 1,060 万人の新たな患者が発生し、130 万人が結核で死亡している。感染症としては AIDS の 140 万人に次ぐ死者数である。日本でも長らく「国民病」と呼ばれ、とくに若い世代の命を奪うことから 1951 年に結核予防法(2007 年に感染症法に統合)が制定されるなど、早期発見・治療に取り組まれてきた。こうした施策の成果から結核罹患率(人口 10 万当たりの新規患者数)は低下を続け、2021 年には 9.2 と 10 を下回って結核低蔓延国となった。死因としても近年は 20 位以下に落ちてきているが、けっして撲滅されたわけではなく、2022 年には新規患者数 10,235 人(毎日平均 28 人)が発病し、1,664 人が命を落としている。結核症を発病しても早期に発見・治療できれば重症化せず、周りへの感染も防ぐことができるが、無治療でいると半数の方が亡くなる、発病すると昔と変わらず怖い病気である。

結核は飛沫核(空気)感染である。結核菌は肺内に侵入・定着して初感染病巣を形成するが、遅れて T リンパ球による免疫が成立すると、免疫反応によって病巣は封じ込められる。感染時に菌が多いか免疫力が弱いと抑え込めず全身性に発病することがある。成人の肺結核の多くは抑え込まれていた結核菌が再び増殖して発病する内因性再燃である。加齢、過労やストレス、栄養失調などで免疫力が低下すると発病しやすくなる。

3 週間以上続く咳、発熱は結核を疑う。胸部レントゲン検査で肺に影がある場合は喀痰塗抹検査と結核菌培養検査も行い、塗抹検査で抗酸菌が陽性の場合にはガフキー何号と表現する。ただし、抗酸菌が結核菌かどうかは培養しないとわからず、培養の結果が出るのには2週間以上かかる。

結核症は感染症法上の2類感染症であり、診断した医師は直ちに保健所に届け出なければならない。学校保健安全法上は第2種感染症で、排菌している間は出席停止となる。

結核症を発病していても喀痰塗抹検査で陰性ならば周りにうつす可能性は低いが、陽性、排菌している場合は周りにうつしている可能性があり、保健所の指示の下、接触者検診を行う。感染可能期間は結核診断日または胸部レントゲン検査で肺の影を認めた日から3ヶ月さかのぼる期間とし、その間に換気の乏しい空間を週に目安8時間以上共有した者を濃厚接触者と選定する。

接触者検診は結核特有の検査(IGRA、2歳未満はツベルクリン反応)を採血で行い、陽性反応が強くと結核「感染」と表現する。濃厚接触者の3割近くが感染するが、感染しても2ヶ月以上経たないと採血検査で反応が出ないため、接触者検診は接触後2ヶ月以上経ってから行う。この検査で感染者と診断されると外来で予防治療を行う。

咳、発熱などの症状が出現、あるいは症状がなくても胸部レントゲン検査で影が出てくると結核「発病」と表現する。感染しても通常は無症状で、発病しているかどうかは胸部レントゲン検査で診断するが、検査で影が出るのには感染してから半年以上かかるため、胸部レントゲン検査は感染後半年以上経ってから行う。

感染すると1年で1割の人が発病し、その後さらに1割の人が長い人生のどこか、免疫機能が低下した時点で発病する。感染していた場合、いつ発病するかは分からないので、定期的な検診を受け続けることが望ましい。

患者が2家族以上20人以上に感染させた場合に集団感染として保健所から発表される。この際、発病者は6名として、予防治療者は1名として数える。例えば、感染者から新たに2人の発病者と5人の予防治療者が出た場合 $(1+2) \times 6 + 5 = 23$ 、集団感染事例となる。

要するに、結核症の発病者が出た場合、その対応は感染症法に従い、保健所の指示で動く。発病者が排菌している場合、保健所から濃厚接触者と選定された人は2ヶ月以上待ってから接触者検診を受ける。それで感染と判定されなければまず大丈夫で、今回は幸いにして新たな感染者は出なかった。もし感染していた場合は予防治療を受け、以後は定期的に胸部レントゲン検査を受けることが望ましい。

目 次

2023 年度業務報告

1. 年間業務内容.....	- 5 -
2. 学生健康診断.....	- 7 -
(1) 学生健康診断受診状況(外部医療機関での受診者数を含む)	- 7 -
(2) 学生定期健康診断項目別受診率	- 9 -
(3) 学生定期健康診断有所見者の経過.....	- 9 -
(4) 学生の身体状況(肥満とやせ)	- 10 -
(5) 学生定期健康診断 Web 健康調査	- 11 -
(6) 感染症罹患報告者数.....	- 14 -
(7) 学生の休学者・退学者数.....	- 16 -
3. 教職員健康診断・産業保健.....	- 16 -
(1) 教職員定期健康診断 項目別受診率 (キャンパス別)	- 16 -
(2) 教職員定期健康診断 有所見者の経過 (全キャンパス)	- 17 -
(3) 教職員の身体状況 (肥満とやせ)	- 18 -
(4) 保健指導	- 19 -
(5) 教職員の休職・復職者数 (対象：学院全体)	- 19 -
(6) 長時間労働者への産業医による面接.....	- 19 -
(7) ストレスチェック受検率に関する報告 (対象：学院全体)	- 20 -
4. 集団健康教育.....	- 21 -
5. その他の法定健康診断.....	- 22 -

(1) 特殊健康診断（相模原キャンパス）	- 22 -
(2) 雇入れ健康診断.....	- 24 -
(3) 特定業務従事者健康診断.....	- 24 -
6. 健康診断証明書発行業務	- 25 -
(1) 青山キャンパス健康診断証明書発行枚数.....	- 25 -
(2) 相模原キャンパス健康診断証明書発行枚数.....	- 25 -
7. 救急処置・検査等保健管理センター利用状況.....	- 26 -
(1) 青山キャンパス	- 26 -
(2) 相模原キャンパス	- 27 -
8. 各キャンパス業務内容利用状況.....	- 28 -
(1) 青山キャンパス.....	- 28 -
(2) 相模原キャンパス	- 29 -
9. 行事のための救急待機保健管理センター利用状況.....	- 30 -
10. 各種情報処理	- 30 -
(1) 学生健康診断処理関係	- 30 -
(2) 教職員健康診断処理関係.....	- 31 -
11. 全国保健管理研究集会研究発表	- 31 -

2023 年度業務報告

1. 年間業務内容

年	月	業 務	対象者	キャンパス・実施期間
2023	4 月	入学式救護待機	学生・来校者	青山(4/1)
		学生定期健康診断	学生	青山(4/1・3・4・5・6) 相模原(4/3・4・5・6)
		学生 Web 健康調査	学生	青山・相模原(4/1～15)
		内科医による健康相談	学生・教職員	青山(毎週月・火・木・金通年) 相模原(毎週月・火・木・金通年)
		精神科医による精神衛生相談	学生・教職員	青山(毎週水・木・金通年) 相模原(毎週火・木通年)
		学生健康診断有所見者・有症状者への対応	学生	青山・相模原(4/7～通年)
		大学指定医療機関での学生フォローアップ健診 (今年度入学生・教育実習・介護体験対象者)	学生	青山・相模原(4/17～9/29)
		健康診断証明書発行	学生	青山・相模原(4/25～通年)
		健康診断結果通知発行	学生	青山・相模原(4/25～通年)
		長時間労働者への産業医による面接指導	職員	青山・相模原(4月～毎月)
	5 月	特殊健康診断・特定業務従事者健康診断	学生・教職員	相模原(5/10・11・12)
		有害な業務に係る歯科健康診断	教職員	相模原(5/15～5/31)
		保健管理センター内での学生フォローアップ健診	学生	青山・相模原(5/8～7/29)
		臨時第一回保健管理センター運営委員会(メール会議)	運営委員	青山・相模原(5/20～25)
		ペアレンツイクメント 企画キャンパス見学会救護待機	来校者	相模原(5/27)
	6 月	ペアレンツイクメント 企画キャンパス見学会救護待機	来校者	青山(6/10)
		保健管理センター運営委員会	運営委員	青山・相模原(6/21)
	7 月	オープンキャンパス救護待機	来校者	相模原(7/9)
		大学院説明会救護待機	来校者	青山(7/15)
		第 61 回全国大学保健管理協会関東甲信越地方部会研究集会	保健管理センター	青山・相模原(7/27・28)
8 月	オープンキャンパス救護待機	来校者	青山(8/1・2)	
	Aoyama Summer Campus Tour 救護待機	来校者	青山(8/22)	
9 月	理工学研究科入試救護待機	受験生	相模原(9/1・2)	
	社会情報学研究科入試救護待機	受験生	青山・相模原(9/2)	
	大学同窓祭救護待機	同窓生	青山(9/23)	
	9 月学部・大学院学位授与式救護待機	学生	青山(9/30)	
	教職員定期健康診断	教職員	青山(9/26～29)・相模原(9/27～29)	

年	月	業 務	対象者	キャンパス・実施期間	
2020年	10月	教職員フォローアップ健診	教職員	青山・相模原(10/10～2024/2/16)	
		相模原祭救護待機	学生・来校者	相模原(10/7・8)	
		2024年度入学者選抜(年内実施)試験救護待機	受験生	青山(10/7・28) 相模原(10/28)	
		第61回全国大学保健管理研究集会	保健管理センター	青山・相模原(10/4・5)	
		臨時第二回保健管理センター運営委員会(メール会議)	運営委員	青山・相模原(10/17～23)	
	11月	青山祭救護待機	学生・来校者	青山(11/3・4・5)	
		ペアレンツウィークエンド企画秋のキャンパス見学会救護待機	受験生	青山(11/18)	
		2024年度入学者選抜(年内実施)試験救護待機	受験生	青山(11/23・25) 相模原(11/23)	
		第43回八大学保健管理担当学会議(開催当番校)	保健管理センター	青山・相模原(11/28)	
	12月	理工学研究科入試救護待機	受験生	相模原(12/2)	
		2024年度入学者選抜(年内実施)試験救護待機	受験生	青山(12/9)	
	2024年	1月	大学入学共通テスト救護待機	受験生	青山(1/13・14)
			社会情報学研究科入試救護待機	受験生	青山・相模原(1/27)
		2月	一般選抜入試救護待機	受験生	青山(2/7・9・10・11・13・14・15・17・18・19)
3月		AOGAKU OPEN DAY 救護待機	来校者	青山(3/20)・相模原(3/16)	
	学院創立150周年テーマソング・PV制作救護待機	学生	青山(3/20)		
	学部・大学院学位授与式救護待機	学生	青山(3/25)		
	マクレイ記念館寄付者対象「内覧会」救護待機	来校者	青山(3/30)		

【保健管理センター通年業務】

*各種健康診断関連

(学生健康診断、教職員健康診断、特殊健康診断、有害な業務に係る歯科健康診断、特定業務従事者健康診断、雇用時健康診断)

*各種証明書発行(健康診断証明書、英文健康診断証明書等)

*救急対応、応急処置

*内科医、精神科医、保健師・看護師による健康相談

*健康教育(個別保健指導、集団健康教育)

*産業保健(教職員の休職・復職、長時間労働者、高ストレス者等への介入・支援)

*各種届出及び申請書の作成(医療廃棄物処理、私立大学等経常費補助金申請書等)

*各種統計(労働基準監督署、文部科学省、保健所、年報、大学資料集等)

*感染症対応(COVID-19・インフルエンザ・結核等)

2. 学生健康診断

(1) 学生健康診断受診状況(外部医療機関での受診者数を含む)

青山キャンパス

対象者数:2023/5/1 現在(但し専門職大学院後期入学生5名のみ追加) 受診者数:2023/10/27 現在

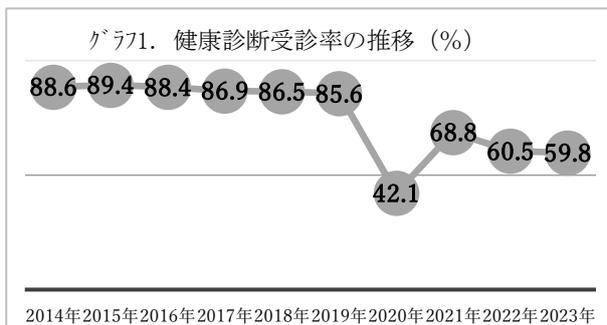
		1年生	2年生	3年生	4年生	男合計	女合計	合計
文学部	学生数	808	825	797	839	999	2270	3269
	受診者数	750	464	329	458	554	1447	2001
	受診率	92.8%	56.2%	41.3%	54.6%	55.5%	63.7%	61.2%
教育人間科学部	学生数	318	321	308	328	404	871	1275
	受診者数	312	212	192	221	268	669	937
	受診率	98.1%	66.0%	62.3%	67.4%	66.3%	76.8%	73.5%
経済学部	学生数	568	635	519	629	1628	723	2351
	受診者数	541	267	145	247	784	416	1200
	受診率	95.2%	42.0%	27.9%	39.3%	48.2%	57.5%	51.0%
法学部	学生数	533	548	516	585	1082	1100	2182
	受診者数	511	246	183	258	518	680	1198
	受診率	95.9%	44.9%	35.5%	44.1%	47.9%	61.8%	54.9%
経営学部	学生数	548	574	570	580	1148	1124	2272
	受診者数	537	240	160	239	535	641	1176
	受診率	98.0%	41.8%	28.1%	41.2%	46.6%	57.0%	51.8%
国際政治経済学部	学生数	317	340	379	365	699	702	1401
	受診者数	297	169	169	144	342	437	779
	受診率	93.7%	49.7%	44.6%	39.5%	48.9%	62.3%	55.6%
総合文化政策学部	学生数	285	270	332	270	324	833	1157
	受診者数	276	181	177	134	190	578	768
	受診率	96.8%	67.0%	53.3%	49.6%	58.6%	69.4%	66.4%
大学院生	学生数					175	189	364
	受診者数					91	114	205
	受診率					52.0%	60.3%	56.3%
専門職大学院生	学生数					303	169	472
	受診者数					133	78	211
	受診率					43.9%	46.2%	44.7%
青山キャンパス合計	学生数	3377	3513	3421	3596	6762	7981	14743
	受診者数	3224	1779	1355	1701	3415	5060	8475
	受診率	95.5%	50.6%	39.6%	47.3%	50.5%	63.4%	57.5%
科目等履修生	学生数					57	37	94
	受診者数					10	8	18
	受診率					17.5%	21.6%	19.1%

相模原キャンパス

		1年生	2年生	3年生	4年生	男合計	女合計	合計
理工学部	学生数	722	753	823	572	2339	531	2870
	受診者数	667	383	301	393	1338	406	1744
	受診率	92.4%	50.9%	36.6%	68.7%	57.2%	76.5%	60.8%
社会情報学部	学生数	229	223	242	237	537	394	931
	受診者数	220	137	103	148	332	276	608
	受診率	96.1%	61.4%	42.6%	62.4%	61.8%	70.1%	65.3%
地球社会共生学部	学生数	215	199	216	209	228	611	839
	受診者数	212	155	116	90	140	433	573
	受診率	98.6%	77.9%	53.7%	43.1%	61.4%	70.9%	68.3%
コミュニティ人間科学部	学生数	247	256	231	250	336	648	984
	受診者数	242	178	101	143	201	463	664
	受診率	98.0%	69.5%	43.7%	57.2%	59.8%	71.5%	67.5%
大学院生	学生数					460	100	560
	受診者数					367	87	454
	受診率					79.8%	87.0%	81.1%
相模原キャンパス合計	学生数	1413	1431	1512	1268	3900	2284	6184
	受診者数	1341	853	621	774	2378	1665	4043
	受診率	94.9%	59.6%	41.1%	61.0%	61.0%	72.9%	65.4%
科目等履修生	学生数					1	1	2
	受診者数					1	1	2
	受診率					100%	100%	100%

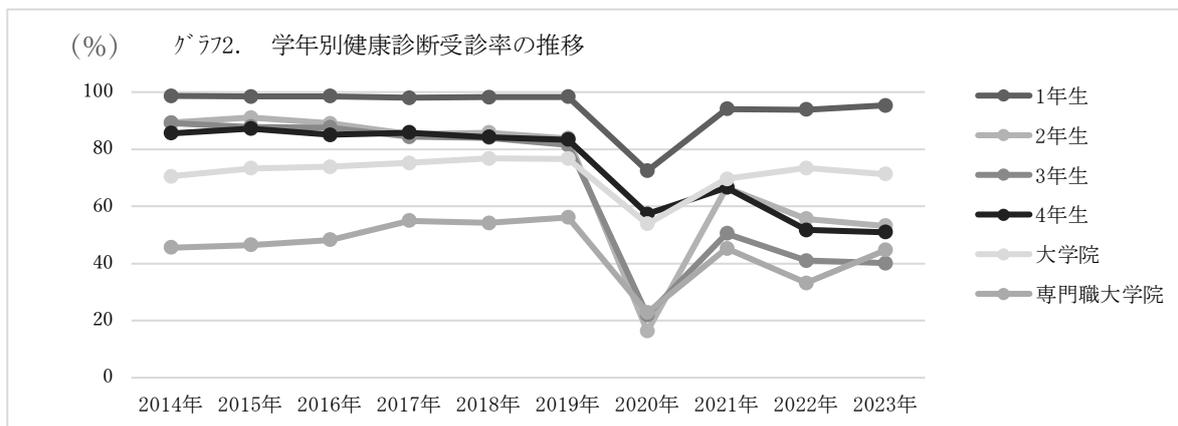
大学総計(両キャンパス)

	1年生	2年生	3年生	4年生	学部生合計	大学院生	専門職 大学院生	大学生総合計	科目等 履修生
学生数	4790	4944	4933	4864	19531	924	472	20927	96
受診者数	4565	2632	1976	2475	11648	659	211	12518	20
受診率	95.3%	53.2%	40.1%	50.9%	59.6%	71.3%	44.7%	59.8%	20.8%



感染法上、COVID-19 が 2 類相当に位置付けられていた 2023 年 4 月の学生定期健康診断は、2020 年度から引き続き、健診項目を学校保健安全法に基づく必要最小限の項目に絞ると共に、感染防止対策に努めて実施した。また大学での健康診断受診を見送る学生の救済措置として、学生が費用負担無しで受診できるフォローアップ健診制度も継続した。健診項目に胸部レントゲン検査が含まれる今年度入学生は提携先の医療機関にて 4 月 17 日から 9 月 29 日の期間、また健診項目に胸部レントゲン検査が含まれない今年度入学生以外の学生は保健管理センターにて 5 月 8 日から 7 月 29 日の期間を設け、未受診者に健康診断の受診を促した。

最終的な学生健康診断受診率は青山キャンパス 57.5%、相模原キャンパス 65.4% (科目等履修生除く) で、受診率は昨年度より両キャンパス共に低下した。学年別では、例年通り 1 年生の受診率が一番高かった。全学年および大学院は横ばいで、専門職大学院が前年度より 11.6%増加した。



(2) 学生定期健康診断項目別受診率

※2023年度は健康診断受診先によって学年の指定項目以外の項目も受診している場合があるため項目別受診率は参考値である

青山キャンパス(科目等履修生含む)

健診項目	対象者数	受診者数			受診率		
		男	女	合計	男	女	合計
身体計測	14837	3424	5068	8492	50.2	63.2	57.2
レントゲン	4348	1677	2280	4957	86.4	94.8	91.0
視力	4432	884	1279	2163	40.7	56.6	48.8
内科診察	8431	2306	3198	5504	57.6	72.3	65.3

相模原キャンパス(科目等履修生含む)

健診項目	対象者数	受診者数			受診率		
		男	女	合計	男	女	合計
身体計測	6186	2379	1666	4045	61.0	72.9	65.4
レントゲン	1790	1021	633	1654	89.5	97.5	92.4
視力	1830	814	414	1228	67.1	67.1	67.1
内科診察	3280	1619	987	2606	77.7	82.5	79.5

(3) 学生定期健康診断有所見者の経過

健診項目	有所見者数	有所見率	有所見者の経過					
			異常なし	所見あるも問題なし	経過観察	要治療(病院で治療中もしくは経過観察中含む)	結果未報告	未来室
胸部レントゲン	147	2.4	10	86	胸部術後(18) 気腫性のう胞(4) 結節影(1) 線状陰影(2) 石灰化像(2) 硬化性陰影(1) 胸膜癒着(1) 心拡大(4) 胸膜癒着疑い(1) その他(13)	左腺腫上様結節(1)	1	2
内科診察(循環器)	50	0.4	22	11	洞性頻脈(2) PAC(1) 完全右脚ブロック(1) 左室高電位(1)	洞性頻脈(4) PVC(2) 心疾患術後(1) 左軸偏位(1)	1	3
内科診察(血液)	93	0.8	69	5	貧血(1) 甲状腺(7)	橋本病(1) パセドウ病(3) 無痛性甲状腺炎(1) 鉄欠乏性貧血(1) 過多月経(1) 肝機能障害(1)	1	2

定期健康診断における有所見者はのべ290人であった。精密検査等の結果、異常なし・所見あるも問題なしは合わせて203人、経過観察は60人、要治療(病院で治療中もしくは経過観察中含む)は17人であった。また未来室や病院受診結果未報告の学生に対しては、体調および受診状況確認のため定期的に学生ポータルや手紙にて呼出しを行った。

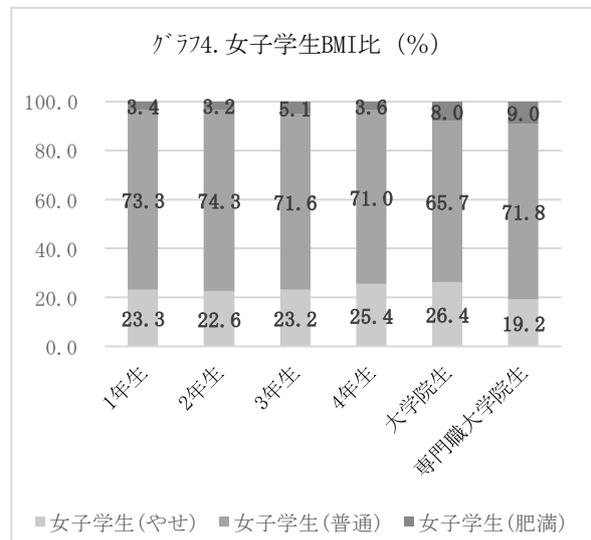
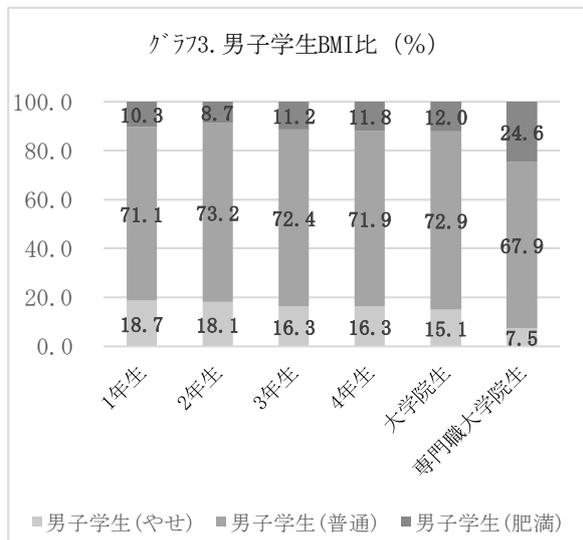
(4) 学生の身体状況(肥満とやせ)

①身長・体重・BMIの平均値

	男子学生				女子学生			
	身長	体重	BMI	平均年齢	身長	体重	BMI	平均年齢
1年生	171.7	62.5	21.2	18.4	159.0	51.1	20.2	18.2
2年生	172.0	62.3	21.0	19.4	159.1	51.4	20.3	19.2
3年生	172.7	64.2	21.5	20.7	159.2	51.9	20.4	20.4
4年生	172.0	63.4	21.4	21.5	159.3	51.0	20.1	21.3
学部生全体平均	172.0	62.9	21.2	19.6	159.1	51.3	20.2	19.5
大学院生	172.4	64.5	21.7	24.0	159.3	52.4	20.6	25.4
専門職大学院生	172.2	68.2	23.0	27.9	161.3	55.1	21.2	25.4
大学全体平均	172.0	63.1	21.3	20.2	159.1	51.4	20.3	19.7
科目等履修生	168.8	67.7	23.8	49.0	156.4	51.8	21.1	40.9

②やせ・普通・肥満学生の割合

	男子学生			女子学生		
	18.5未満 (やせ)	18.5以上25未満 (普通)	25以上 (肥満)	18.5未満 (やせ)	18.5以上25未満 (普通)	25以上 (肥満)
1年生	18.7	71.1	10.3	23.3	73.3	3.4
2年生	18.1	73.2	8.7	22.6	74.3	3.2
3年生	16.3	72.4	11.2	23.2	71.6	5.1
4年生	16.3	71.9	11.8	25.4	71.0	3.6
学部生全体平均	17.7	71.9	10.4	23.5	72.7	3.7
大学院生	15.1	72.9	12.0	26.4	65.7	8.0
専門職大学院生	7.5	67.9	24.6	19.2	71.8	9.0
大学全体平均	17.2	71.9	10.8	23.6	72.5	3.9
科目等履修生	9.1	63.6	27.3	11.1	88.9	0.0



本学学部生の肥満者の割合は男性 10.4%、女性 3.7%、痩せの割合は男性 17.7%、女性 23.5%であった。「学生の健康白書 2021」と比較すると、男女共に痩せの割合が高く、肥満の割合は女性に低い傾向がみられ、男性は同程度であった。

例年同様に BMI15 以下の学生には保健師・看護師が個別面談を行い、介入の必要を認めた場合は大学の精神科医との面談の場を設け、病院受診や学生相談センターのカウンセリングにつなげる等の対応を行った。

BMI30 以上の学生に対しては、学生ポータルを通して年 2 回肥満予防の PDF 資料の配信を行うとともに、2019 年度以来となる対面での指導を行った。年 2 回面談の機会を設け経過確認を試みたが、一定数の学生が一度も面談呼び出しに応じず、今後も呼び出しのタイミングやアプローチ方法を検討しながら対応していく必要がある。

(5) 学生定期健康診断 Web 健康調査

①回答者数・回答率（両キャンパス）

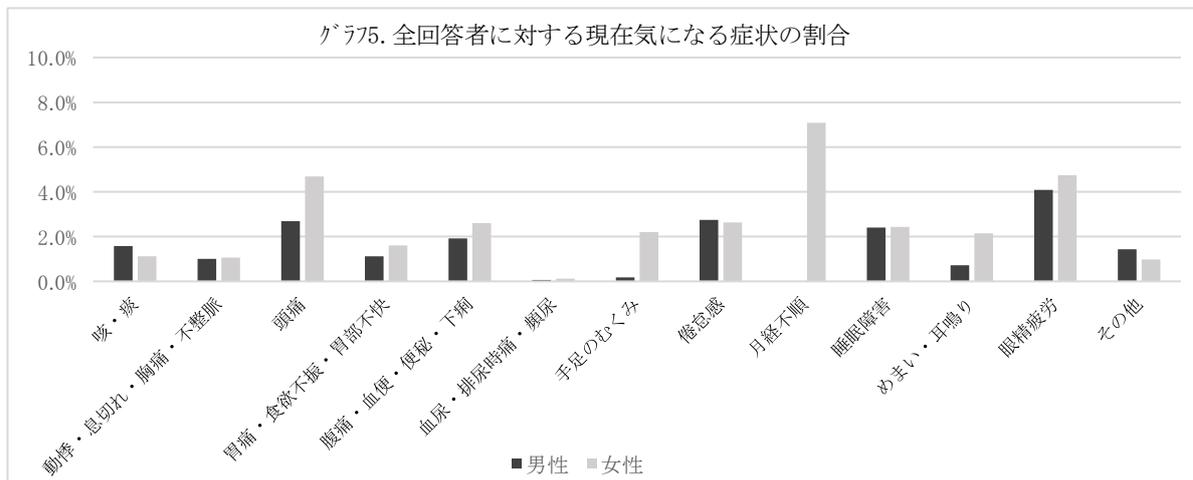
対象者数：2023/5/1 現在 受診者数：2023/10/27 現在

		1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	大学 院生	専門職 大学院	大学合計	科目等 履修生
青山 キャンパス	学生数	3377	3513	3421	3596	364	472	14743	94
	回答者数	2423	2364	1990	2332	243	343	9695	13
	受診率	71.8%	67.3%	58.2%	64.8%	66.8%	72.7%	65.8%	13.8%
相模原 キャンパス	学生数	1413	1431	1512	1268	560	-	6184	2
	回答者数	1054	1090	947	954	422	-	4467	1
	受診率	74.6%	76.2%	62.6%	75.2%	75.4%	-	72.2%	50.0%
合 計	学生数	4790	4944	4933	4864	924	472	20927	96
	回答者数	3477	3454	2937	3286	665	343	14162	14
	受診率	72.6%	69.9%	59.5%	67.6%	72.0%	44.5%	67.7%	14.6%

※Web 回答期間：在校生 2023 年 3 月 1 日～21 日、4 月 1 日～15 日、新入生 2023 年 4 月 1 日～15 日

※指定期間内に Web 回答しなかった学生：書面にて保健管理センターに提出

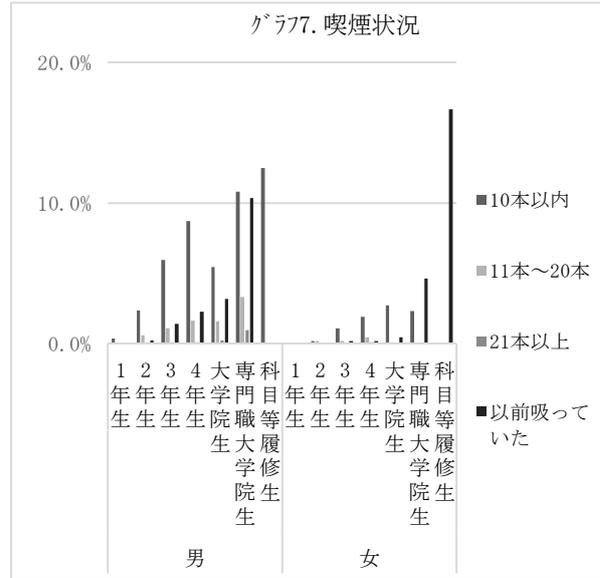
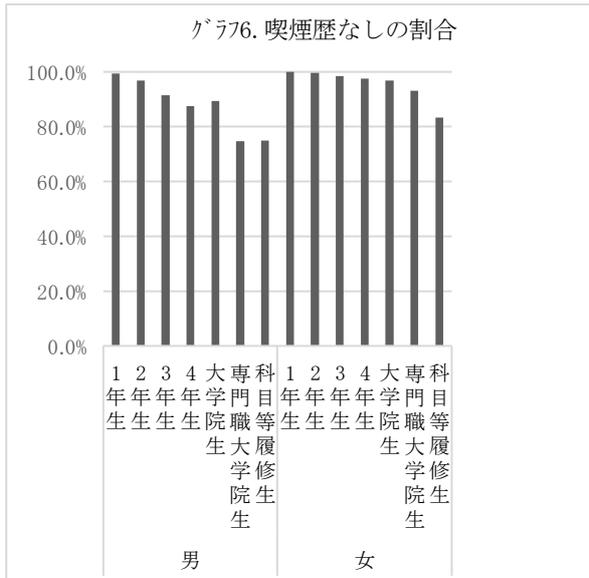
②Web 健康調査回答結果からみる学生の自覚症状の傾向（両キャンパス）



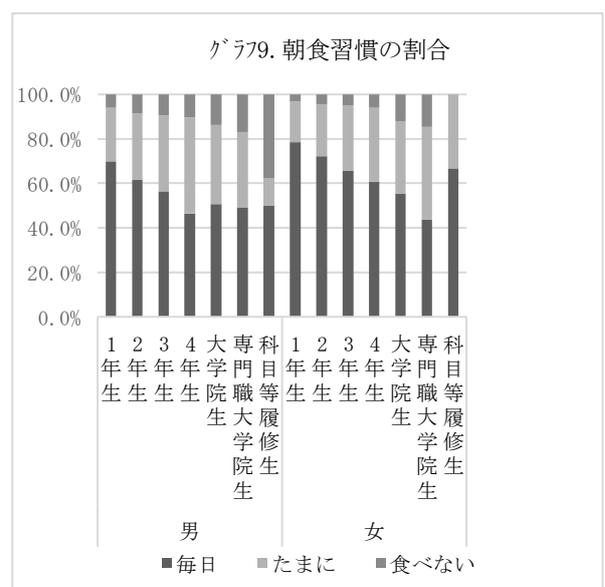
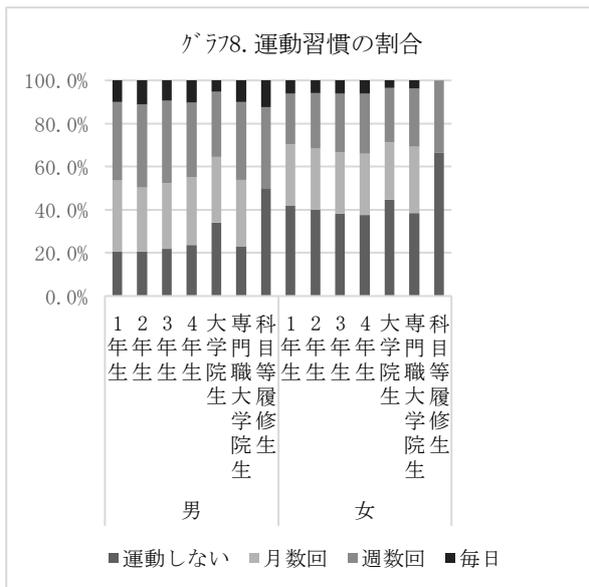
学生の自覚症状については、昨年に引き続き男女共に「頭痛」「倦怠感」「眼精疲労」「睡眠障害」を自覚している学生が多かった。また、女子学生においても昨年に引き続き「月経不順」「腹痛・血便・便秘・下痢」「手足のむくみ」を自覚している学生が多かった。「眼精疲労」「月経不順」は 2022 年度と比較し減少していた。「眼精疲労」については男女共に減少傾向であり、COVID-19 対策として実施されていたオンライン授業の減少が少なからず影響している可能性がある。しかし男性では「頭痛」「胃痛・食欲不振」「腹痛・血便・便秘・下痢」が、女性においては「めまい・耳鳴り」が、男女共に「咳・痰」「その他」の症状が増加傾向であり、今後も引き続き学生の健康問題に着目した健康教育を継続していく必要がある。

③学生生活習慣

生活習慣の傾向をグラフ6—11に表示する。

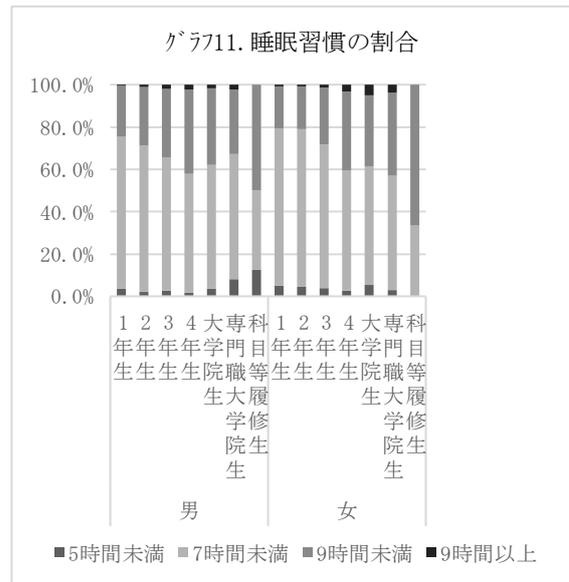
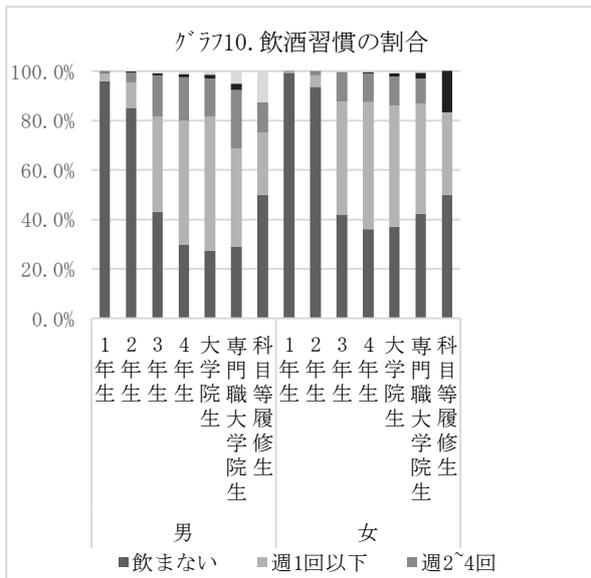


【喫煙習慣】 喫煙率は男性 5.6%、女性 1.0%であった。「学生の健康白書 2021」の全国大学4年制の学生の喫煙率は男性 4.4%、女性 1.3%であり、本学男子学生の喫煙率は全国と比べ高かった。



【運動習慣】 運動習慣率は男性 77.3%、女性 60.4%であった。「学生の健康白書 2021」の全国大学4年制の学生の運動習慣率は男性 69.2%、女性 54.6%であり、本学学生の運動習慣率は全国と比べ男女共に高かった。本学学生の運動習慣は女性より男性が高く、男性は学年とともに低下し、女性は学年とともに上昇する傾向がみられた。

【朝食習慣】 毎日摂取する男性は 57.8%、女性 68.7%であった。「学生の健康白書 2021」の全国大学4年制の学生の毎日摂取する割合は男性 50.8%、女性 61.4%であった。全国と比較すると、本学学生の朝食摂取率は高い。朝食を毎日摂取する習慣は男性より女性の方が多く、男女ともに学年が上がるともに低下している。

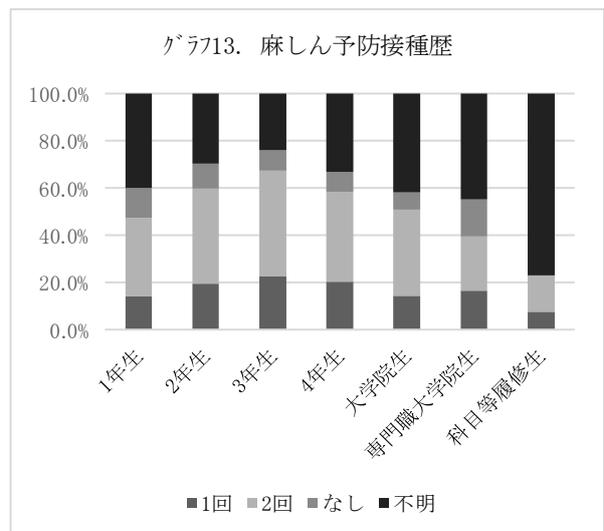
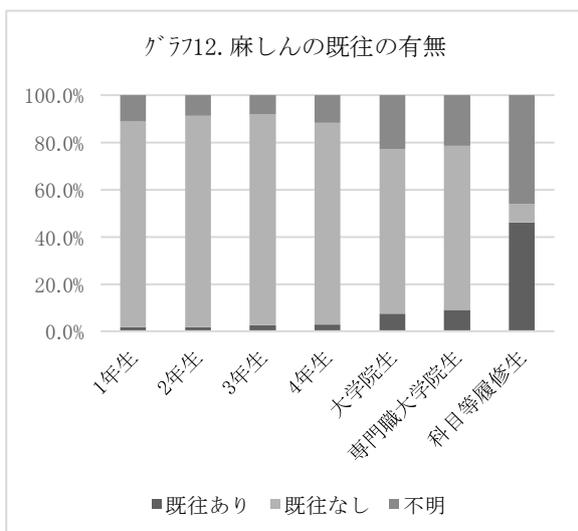


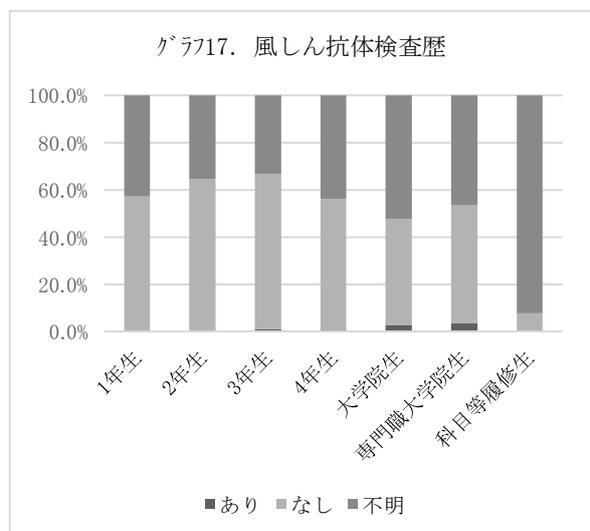
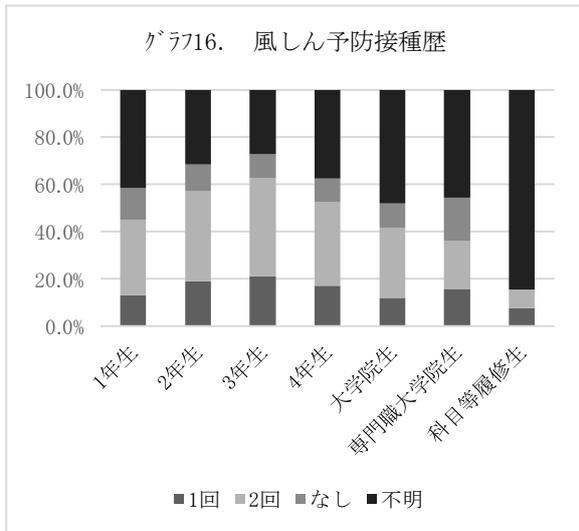
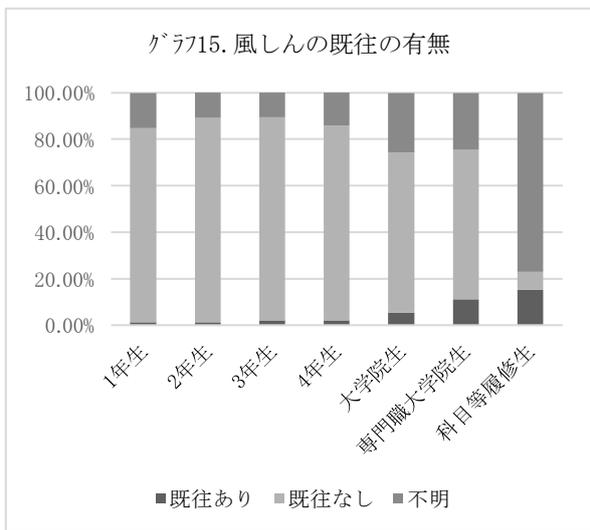
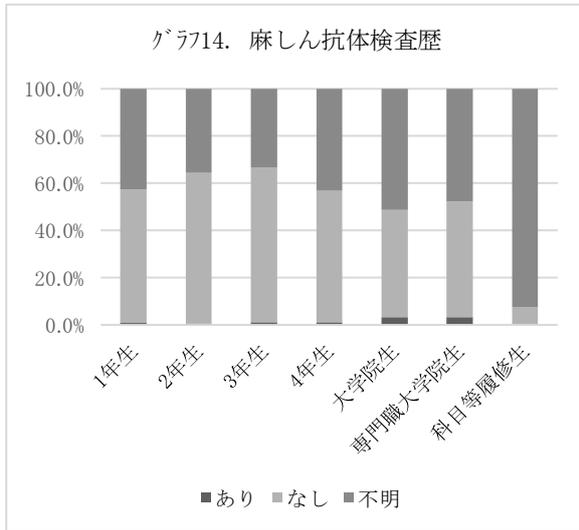
【飲酒習慣】 飲酒率は男性 39.3%、女性 31.9%であった。「学生の健康白書 2021」の全国大学4年制の学生の飲酒率は男性 30.8%、女性 28.8%であり、本学学生の飲酒率は全国と比べ高かった。学年においては男女ともに2年生から飲酒率が上がり3年生で大きく上昇し、女性より男性が高い。

【睡眠習慣】 本学学生はいずれの学年でも5~7時間以上の睡眠時間が多く、「学生の健康白書 2021」の全国大学4年制の学生の平均睡眠時間は男性6.6時間、女性6.6時間であった。本学における平均睡眠時間の算出はしていないが、全国とほぼ変わらない睡眠習慣と考えられる。本学では男女共に学年が上がると共に7時間未満睡眠が減り、9時間未満睡眠が増加し、男性が女性よりも睡眠時間が長かった。

以上、本学学生の運動習慣・朝食習慣・飲酒習慣は男女共に全国学生と比べ高いことが特徴である。運動習慣については女性は学年が上がるとともに増加し、男性は学年が上がるとともに低下し、睡眠時間は男女ともに増加する傾向にある。運動習慣と睡眠習慣のバランスを検討しながら、本学学生の生活習慣の特徴を踏まえた健康教育をしていくことが必要である。

④麻しん・風しんについて





麻しん、風しんについてグラフ12-17に示す。麻しんの既往がある学生は2.6%であり、過去に麻しんの予防接種を1回受けた者は18.7%、2回受けた者は38.3%であった。風しんの既往がある学生は2.0%であり、過去に麻しんの予防接種を1回受けた者は17.1%、2回受けた者は35.8%であった。麻しん、風しん共に厚生労働省の予防接種目標の95%に到達していない。ただし麻しん・風しんの予防接種歴については不明と回答する学生が3割以上いる現状については、予防接種期間が小学校就学前であること・母子手帳を確認しないと接種状況が不明であることが影響しているのではないかと考えられる。

免疫のない女性が妊娠初期に風しんに罹患すると、胎児に先天性風しん症候群を起こすおそれがあり、男女問わず妊娠・出産のライフイベントを迎える学生にとって、流行を繰り返す麻しん・風しんは重要な健康課題の一つである。今後も予防接種の必要性に関する啓蒙活動と接種歴の記録の確認、不明な場合は抗体価の確認が必要であると考えられる。

(6) 感染症罹患報告者数

① COVID-19 (2類相当時：2023年5月7日まで)

感染者	4月	5月
青山キャンパス (学生)	45	49
(教職員)	6	0
相模原キャンパス (学生)	7	4
(教職員)	2	0
合計	60	53

濃厚接触者	4月	5月
青山キャンパス (学生)	7	4
(教職員)	1	0
相模原キャンパス (学生)	2	1
(教職員)	2	0
合計	12	5

② 学校において予防すべき感染症

青山キャンパス

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
COVID-19(5類移行後)	—	58	182	122	0	44	30	30	16	24	0	0	506
インフルエンザ	10	4	3	5	0	64	75	103	110	57	0	0	431
伝染性単核球症(EBウイルス)	0	1	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	4
水痘	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
溶連菌感染症	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	3
流行性角結膜炎	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2
咽頭結膜炎	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2
アデノウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
感染性(ウイルス)胃腸炎	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
急性扁桃炎	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	10	63	189	129	0	109	107	134	131	83	0	0	955

相模原キャンパス

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
COVID-19(5類移行後)	—	28	65	58	0	22	12	5	7	15	0	0	212
インフルエンザ	2	5	6	5	0	19	42	43	70	28	0	0	220
溶連菌感染症	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
肺結核	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
合計	3	33	72	63	0	41	54	49	77	43	0	0	435

2023年度の本学のCOVID-19に関する対策であるが、政府の対応方針に準じて必要な感染対策は継続しつつ、4月1日からキャンパス入構制限が正式に解除され、マスク着用については個人の判断に委ねる方針に変更された(ただし、行事等において別途指示がある場合はその指示に従う)。COVID-19の位置づけが2類相当から5類感染症に移行した5月8日からは、大人数での集まり、会食が実施可となった。2類相当であった5月7日までのCOVID-19感染報告数は、学生105件、教職員8件にとどまり、全国的にも感染者数が減少していた時期だったこともあり、2022年度の同時期に比較するとかなり減少した。5類感染症移行後は学校保健安全法施行規則に従い、他の第二種感染症と同様、感染症登校許可証明書の提出数を感染者数としてカウントしているが、COVID-19感染報告数は、学生718件であった。全国把握から定点把握に変わった国のCOVID-19感染者数動向をみると、5月8日以降も感染者数増加の波があったが、8月以降の本学の感染報告数は横ばい、もしくは減少し、懸念していた感染対策緩和による感染拡大の兆候は認められなかった。

COVID-19以外の感染症としては、2023年7月頃より季節外れのインフルエンザ罹患報告が出始め、10月頃から上昇傾向が強くなった。しかし全国的に12月に一旦のピークを迎えたこともあり、本学の報告件数も12月をピークに減少した。その他の感染症に関しては表に示す通りである。

2020年に始まったCOVID-19の感染拡大に伴い行われていた大規模な感染対策は2023年5月7日ようやく終了したが、保健管理センターとしてはCOVID-19を含めた感染症の動向には引き続き注意し、種々の感染症の発生防止に努める必要がある。

(7) 学生の休学者・退学者数

休学・退学事由		青山キャンパス	相模原キャンパス	合計
病気療養による 休学者数	精神疾患	46	23	69
	内科疾患・その他疾	7	2	9
	合計	53	25	78
病気療養による 退学者数	精神疾患	2	1	3
	内科疾患・その他疾	0	0	0
	合計	2	1	3
死亡退学者数		3	3	6

全休学生に対する病気療養による休学者は7.6%で2022年度とほぼ変わらず推移しており、そのうち精神的問題で病気療養している者が86.3%で昨年より3.3%増加した。病気療養による退学者は1.8%で昨年より3.2%減少した。休学に至る前や復学してからも安心して学生生活が送れるよう、学生が気軽に相談できる場として今後も保健管理センターの認識を高めていく必要がある。

3. 教職員健康診断・産業保健

(1) 教職員定期健康診断 項目別受診率 (キャンパス別)

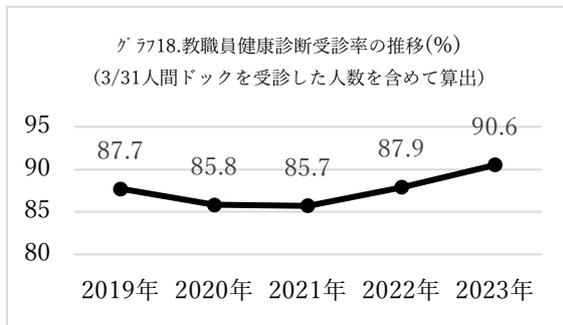
*総対象者数は、2023年10月31日付データをカウント。項目別受診者数は、定期健康診断+フォローアップ健診(2023年10月~2024年2月)受診者をカウント。人間ドック受診者数は2024年3月31日までに提出済みの人間ドック受診者数をカウント

青山キャンパス

所 属	総 対 象 者 数	受 診 者 数	人 間 ド ク ク 受 診 者 数	受 診 率 %	項目別受診者数											
					レ ン ト ゲ ン	心 電 図	血 圧	尿	血 液	視 力	聴 力	計 測	腹 囲	免 疫 学 的 便 潜 血 反 応	肝 炎 ウ イ ル ス 検 査	生 活 調 査
大学本務教員	389	282	49	85.1	277	251	282	282	276	282	282	282	251	235	17	282
大学兼務教員	1	1	0	100	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
本部・大学本務職員	370	292	58	94.6	287	168	292	289	273	292	292	292	168	153	22	292
本部・大学兼務職員	79	69	3	91.1	69	49	69	68	60	69	69	69	49	41	15	69
幼稚園・本務兼務教職員	16	13	2	93.8	13	10	13	13	11	13	13	13	10	8	1	13
合 計	855	657	112	90.0	647	479	657	653	621	657	657	657	479	438	56	657
有所見者数					78	82	106	31	417	176	28	233	143	21	12	

相模原キャンパス

所 属	総 対 象 者 数	受 診 者 数	人 間 ド ク ク 受 診 者 数	受 診 率 %	項目別受診者数											
					レ ン ト ゲ ン	心 電 図	血 圧	尿	血 液	視 力	聴 力	計 測	腹 囲	免 疫 学 的 便 潜 血 反 応	肝 炎 ウ イ ル ス 検 査	生 活 調 査
大学本務教員	254	201	33	92.1	200	159	201	198	169	200	200	201	156	146	8	201
大学兼務教員	8	4	0	50.0	4	3	4	4	3	4	4	4	3	2	1	4
本部・大学本務職員	102	80	15	93.1	80	58	80	80	67	80	80	80	58	56	14	80
本部・大学兼務職員	55	50	2	94.5	49	43	50	50	45	50	50	50	43	43	13	50
合 計	419	335	50	91.9	333	263	335	332	284	334	334	335	260	247	36	335
有所見者数					38	22	44	16	162	9	15	129	77	5	6	



9月に実施した教職員定期健康診断は、COVID-19 5類感染症移行後であったため、平常時の方法で実施した。また、受診率向上を目的としたフォローアップ健診（定期健康診断実施日に何らかの理由により健康診断を受診できない場合、期間内であれば自己負担無しに指定の医療機関で健康診断を受診できる制度）は昨年同様、2023年10月2日～2024年2月16日までの期間を設けた。2023年度のフォローアップ健診受診者は2022年度の71人から57人に減少したが、学院の受診率向上への働きかけが強化された事もあり、定期健康診断と人間ドック受診者数が増え、全体受診率は90.6%と上昇した。一方で、重ねての受診奨励にも関わらず健康診断未受診者も一定数おり、今後も引続き受診率向上への働きかけは必要である。

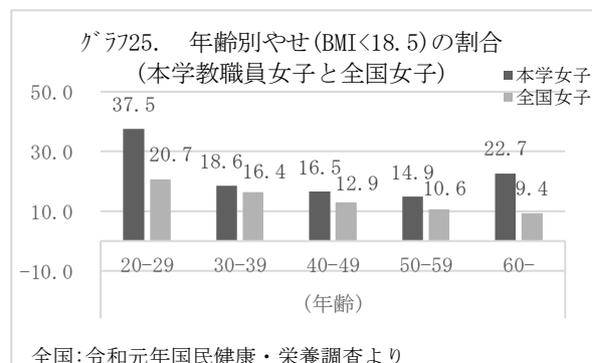
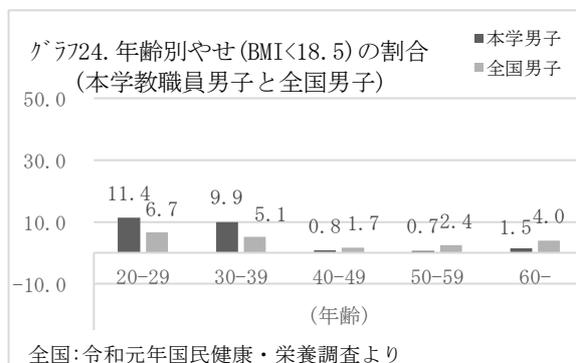
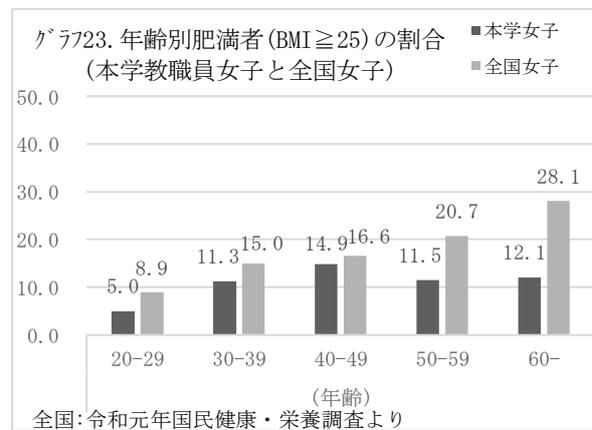
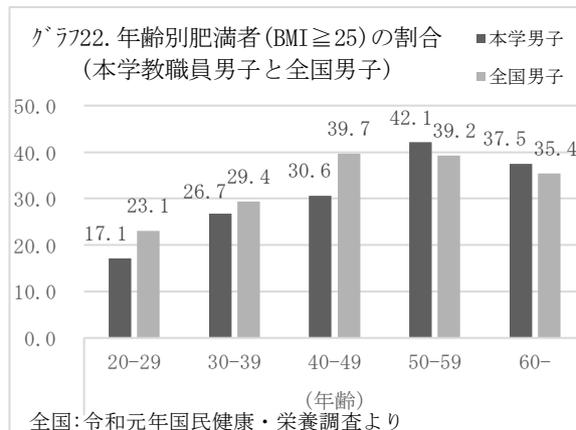
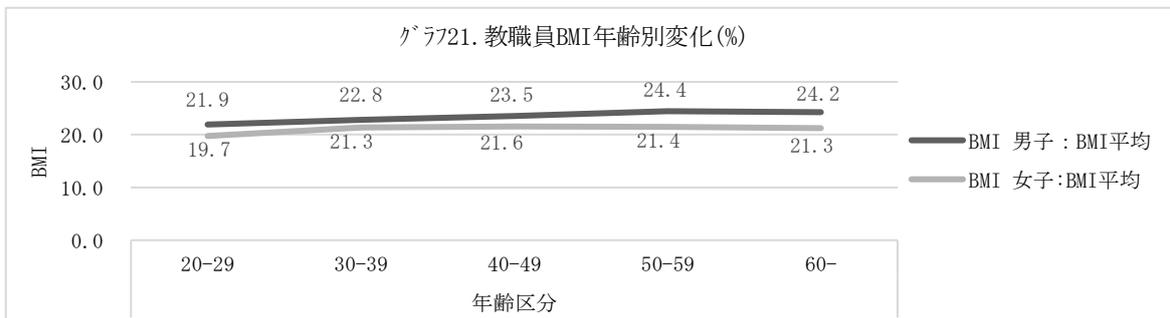
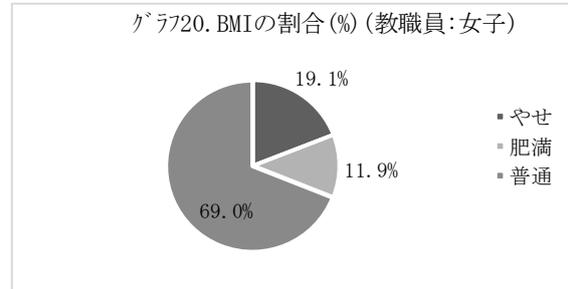
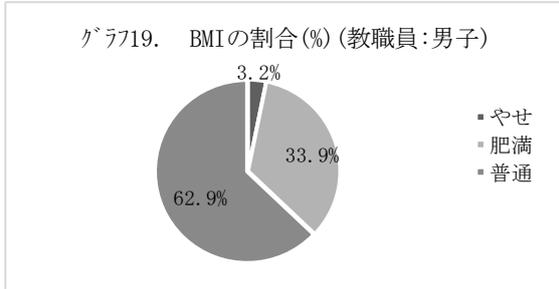
(2) 教職員定期健康診断 有所見者の経過 (全キャンパス)

健診項目	有所見者数 (実人数)	有所見率	有所見者の経過				
			問題なし	要経過観察	要治療又は治療中	受診結果未報告	未来室
胸部レントゲン	116	11.8	40	結節影(4) 結節影疑(1) 斑状影(4) 硬化性陰影(3) 石灰化影(3) 索状影(10) 浸潤性陰影(1) 陳旧性変化(2) 胸膜肥厚(7) 肋骨骨折痕(5) 大動脈硬化(3) 肺尖部肺野手術後(6) 側弯(10) 横隔膜部胸膜癒着(5) 心臓拡大(1) 気腫性のう胞(1) 甲状腺腫(1) 肋骨骨島影(5) 肋骨硬化(1) 肋骨頸肋(1) 縦郭リンパ節石灰化(1)	0	0	1
心電図	104	14.0	0	不完全右脚ブロック(1) 洞性徐脈(3) 第1度房室ブロック(2) 心拍過多(2) 完全右脚ブロック(8) R高振幅(16) 異常Q波の疑い(4) ST低下(3) 上室性期外収縮(1) 心房性期外収縮(1) 上室性期外収縮頻発(1) 陰性T波(6) 心室性期外収縮頻発(2) PQ短縮(1) 心室性期外収縮(単) 散発(6) ブルガタ型疑(2) 左室高電位(1) 左室高電位疑(1) その他(32)	心房細動(2) 不完全右脚ブロック(1) 左脚前枝ブロック(1) rSr'パターン(1) ST上昇(1) T平低化(1) 左室肥大ストレイン型(1)	1	2
血圧	150	15.1	1	高血圧(91)	高血圧(37)	3	18
尿検査	47	10.6	2	顕微鏡的糖尿(8) 尿潜血(6) 尿蛋白(10) 尿糖(1)	糖尿病(9) 腎不全(1) 腎疾患(2)	0	8
血液検査	579 *一人の複数所見を有する場合あり	64.0	69	脂質異常(245) 肝機能障害(84) 高血糖(83) 腎機能低下(4) 尿酸値異常(14) 貧血(29) 白血球数異常(15)	脂質異常症(35) 糖尿病(13) 腎疾患(3) 高尿酸血症(2) 肝疾患(3) 腎機能低下(5) 貧血(4)	7	19
肝炎の検査	18	19.6	6	HBs抗体+(12)	0	0	0
免疫学的便潜血反応	26	3.8	1	大腸ポリープ(1) 便潜血陽性(5)	大腸ポリープ(5)	6	8

教職員健康診断における有所見者数は延べ 1040 人であった。項目別有所見率は、血液検査の有所見率が 64%と最も高い。特に、脂質異常症・肝機能障害・耐糖能異常等の生活習慣病に関連した要経過観察者が多く、例年同様の傾向となっている。引き続き生活習慣病の改善のため健康診断後の保健指導や受診推奨、また予防のため集団健康教育を継続し実施していく必要があると考える。

(3) 教職員の身体状況 (肥満とやせ)

本学:教職員健康診断受診者 男子 558 人、女子 472 人より算出 (2023 年 11 月 2 日現在)



教職員の体格指数 (BMI) の割合は、男性は肥満 33.9%、やせ 3.2%、女性は肥満 11.9%、やせ 19.1%であった。前年度と比較して肥満が男性 0.6%増加、女性 1.1%増加、やせは男性 0.2%減少、女性 2.2%減少し、男女共に肥満が増加し、やせは減少となった。

2019 年「国民健康・栄養調査」と比較した場合、例年同様、肥満は 50 代以上の男性が全国平均を上回っていた。女性に関しては 20~60 代全ての年代で全国平均を下回っていた。やせでは男性が 20 代 30

代で全国平均を上回り、女性のやせに関しては20～60代全ての年代で全国平均を上回っていた。肥満ややせは運動習慣や食習慣に起因する場合も多く、引き続き生活習慣の改善や疾病の予防につながるような保健指導や健康教育を実施することが必要である。

(4) 保健指導

通常健康診断事後措置（医師面談・受診推奨）と共に、結果通知で保健指導を案内しているが、例年、自主的に保健指導を希望してくる教職員が少ないことが課題となっている。対象者には個別にメールや保健指導の案内を送付するなど、来室を促す対応をとったが、保健指導実施者の増加には至らなかった。対象者が自らの生活習慣を振り返り、健康への関心を持つ機会となり行動変容に導けるよう仕組みづくりから検討し取り組んでいきたい。

(5) 教職員の休職・復職者数（対象：学院全体）

※2023年度内に休職期間がある者及び復職した者の延べ人数

休職・復職事由	青山キャンパス		相模原キャンパス	
	休職（再休職※1）	復職	休職（再休職※1）	復職
精神的疾患	13	3	4	1
身体的疾患	5	2	0	0
合計	18	5	4	1

※1：再休職の定義 復職日から1年10カ月を経過するまでの間に療養することとなった場合

上記は療養就業規則上の休職者数である。全教職員（休職者数）に対する休職者の割合は2.6%であり、今年度も精神的・身体的疾患ともに新規の休職者が多くを占めており、休職期間が長期に及ぶケースが増加している。

精神的疾患による復職の際には、復職支援プログラムを適用しているが、関連部署との連携のもと段階的に進めることでスムーズに復職に繋がっている。身体的疾患による復職でも、人事や所属長と連携のもと職場の環境調整を行い、定期的な産業医面談によるフォローや就業上の配慮を一定期間は継続している。引き続き、復職の定着率の増加や再休職の防止に努めていきたい。

(6) 長時間労働者への産業医による面接

過重労働による健康障害を防止するため、労働安全衛生法に従って、長時間労働者（事務職員）に対して産業医による面接指導を実施している。

【面接指導対象者、及び指導項目】

法定外労働時間（月）	疲労度チェック※1	産業医面接
法定外労働時間70時間越え	○	必須
法定外労働時間60時間越え	○	考慮※2

※1：対象者に対しては産業保健スタッフよりメールにて回答方法を案内。

※2：本人の面談希望、疲労度チェック（厚生労働省推奨）の結果、健康診断などにより産業医が実施について判断。

面接指導対象者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
法定外労働時間70時間超え対象者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法定外労働時間60時間超え対象者数	1	1	4	0	0	0	1	1	0	0	0	0	8
疲労度チェック回答数	1	1	4	0	0	0	1	1	0	0	0	0	8
医師面談数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

今年度の長時間労働者において、法定外労働時間 70 時間を超える者はなく、法定外労働時間 60 時間超は延べ 8 名であった。年間行事に伴う繁忙期により、同部署での該当者が発生しているケースが多く、該当者には、所属長や人事部が状況を把握し対策を講じるとともに、健康面での配慮として、産業医による面接指導を案内し体調確認を実施している。疲労度チェックシートによる体調確認を実施した者は 8 名、産業医による面接指導を実施した者はいなかった。引き続き、所属長や人事部と連携しながら、長時間労働による脳・心臓疾患やメンタルヘルス不調者の早期発見に努め、早期対処を図りたい。

(7) ストレスチェック受検率に関する報告 (対象：学院全体)

2014 年の労働安全衛生法の改正により、従業員のストレスチェックが事業者に対し義務付けられた。本学では 2016 年度から実施し、今回 8 回目の実施となった。

【実施期間】 2023 年 11 月 6 日 (月) ～11 月 27 日 (月)

【対 象】 定期健康診断対象者で 2023 年 10 月 1 日時点在籍の教職員
(幼稚園・初等部・中等部・高等部の教職員を含む)

【実施方法】 ティーペック (株) ストレスチェック web システムを採用 (若干名、紙受検者あり)

【周知方法】 教職員ポータル、学部長会、教授会、事務連絡会等

年度	対象人数	受検人数	受検率 (%)
2023 年度	1448	1093	75.5
2022 年度	1480	1187	80.2
2021 年度	1484	1117	75.3
2020 年度	1487	1122	75.5
2019 年度	1520	1047	68.9
2018 年度	1508	1006	66.7
2017 年度	1527	1040	68.1
2016 年度	1503	914	60.8

2023 年度の受検率は 75.5%と昨年度より約 5%減少した。昨年度は教員の受検率が上昇した事が要因となり受検率 80.2%と上昇したが、COVID-19 の 5 類感染症移行により、2023 年度は対面授業がメインとなり業務量が増加したことで受検率が減少した可能性が考えられる。今後も引き続き受検案内に関する周知や推奨方法を検討していく必要がある。

学院全体の傾向として、高ストレス者割合と総合健康リスクは昨年より上昇傾向であった。これまでも大きなリスク要因となっていた仕事の負担度が増している。一方で、職場からの支援は前回から横ばいであるも比較的良好な状態を保っている。心身の反応は負担感の増悪に伴い悪化傾向であり、今後も注意が必要である。集団分析結果は基幹部署から所属長にフィードバックされているが、今後はフィードバック後の対応等含め、職場環境改善に取り組む必要があるであろう。

4. 集団健康教育

健康教育テーマ	実施日	講師	対象者(参加者数)
新任教職員セミナー 健康管理について(動画配信)	4月	保健師	新任教職員
Heath Administration Center News 他 (学生ポータル配信) 健診結果から該当学生にBMI、睡眠障害、月経不順、頭痛、世界禁煙デー-東京都福祉保健局パンフ、栄養士監修弁当とフィットネスセンター紹介、歯と口の健康習慣、健康カレンダーと学食便り案内、HIV検査普及週間	4月～12月	保健師・看護師 作成	学生
栄養士監修弁当レシピ・学食だより・学生食堂栄養士への質問 保健管理センター&学食栄養士コラボ企画 (教職員ポータル配信)	4月～適宜	保健師・学生食 堂栄養士	学生 教職員(栄養士監修弁当レシピのみ配信)
「スキマ時間を利用したストレッチで毎日を健康に過ごそう！」 保健管理センター&フィットネスセンターコラボ企画 1回/週配信の10回シリーズ (教職員ポータル配信)	5月～7月 再配信 9月～11月	フィットネスセンター トレーナー	教職員(前期 録画視聴771回) (後期 録画視聴436回)
「貧血について」セミナー(オンライン&録画公開7/4～31)	6/20	保健管理センター 嘱託医	学生・教職員(4名、録画視聴99回)
「頭痛との付き合い方」セミナー(オンライン&録画公開7/4～31)	6/26	保健管理センター 嘱託医	学生・教職員(7名、録画視聴49回)
海外留学医療特別セミナー(①オンライン ②オンデマンド) 保健管理センターと国際センター共同開催 ①「留学生のための海外医療基礎知識・危険ドラッグにも注意！」 ②「留学生のための病院のかかり方と大麻などに注意！」	①6/14 ②10/25 ～1/31	外部講師 (医師)	①学生・教職員(計160名) ②学生・教職員(計138名)
肥満対策夏だより・冬だより(学生ポータル配信)	5/16、7/31、 12/13	保健師・看護師 作成	BMI25以上の学生
教職員健康診断会場 健康啓発ブース 青山キャンパス ①生活習慣/歯の健康動画配信 ②お酒は適量を守りましょう(ポスター展示) ③脂肪モデル展示 相模原キャンパス ①動脈硬化、脳卒中危険度チェック ②大腸がん、腸活	9/26～9/29 9/27～9/29	保健師・看護師 作成	教職員
教職員のための健康セミナー(オンライン&録画公開) ①動脈硬化予防のすゝめ(録画公開 11/10～3/31) ②健康診断のすゝめ～胸部X線について～(録画公開 11/29～3/31) ③人間ドック結果の活用すゝめ(録画公開 11/29～3/31) ④脳卒中予防のすゝめ(録画公開 11/29～3/31) ⑤禁煙のすゝめ(録画公開 12/18～3/31)	①11/8 ②11/17 ③11/21 ④11/27 ⑤12/14	保健C嘱託医	教職員 ①6名、録画視聴 72回 ②7名、録画視聴 45回 ③1名、録画視聴 56回 ④4名、録画視聴 62回 ⑤9名、録画視聴 28回
「食事で改善!貧血対策セミナー」(オンライン&録画公開) 栄養士監修弁当とコラボ(録画公開 11/29～12/31)	11/22	フィットネスセン ター管理栄養士	学生&教職員(9名、録画視聴45回)
2024年度健康カレンダー(ポータル配信)	12/5	保健師・看護師 作成	学生・教職員
大学生向け#OneMoreChoice 研修 将来のライフプランとカラダの 変化を考えて「隠れ我慢」を減らそう(対面)	12/6	株式会社ツムラ	学生(19名)
メンタルセミナー「気持ちのつらさとうつ病」(オンライン)	1/9	保健管理センター 嘱託医	学生・教職員(22名) 録画視聴181回

学生の集団健康教育では、昨年同様にWeb健康調査の結果を基に学生の抱えている健康問題に焦点を当てたリーフレットのPDF配信等を行った。また、初めての試みとして、不調を我慢する事なく、相談先として大学では保健管理センターが利用できる事を知ってもらう事を目的に、ツムラと共同で

「#OneMoreChoice プロジェクト」を開催した。学生は研修を通して、心身の不調を認識し我慢以外の選択について知ることができたようである。今後は研修に参加した学生に関わらず、我慢以外の選択肢をとれる学生が増加するための継続した介入と、行動変容のモニタリングが必要である。

学生、教職員共に参加可能な集団健康教育では、大学のフィットネスセンター及び学生食堂の協力を得て食セミナーや嘱託医による貧血・頭痛・メンタルをテーマとしたセミナーを開催した。

教職員の集団健康教育では、教職員健康診断の機会を利用し、健康診断会場での健康ブース設置やスライド上映を行い、健康診断結果が返却される時期に「教職員のための健康セミナー」として5つのオンラインセミナーを開催した。学生、教職員共に授業や業務時間内の影響がリアルタイムでの参加者を得ることが難しかったが、アーカイブ配信の視聴数は実際の参加者より多く、今後対面でのセミナーを実施する場合には集客可能時間や開催時期を検討する必要性を感じた。

今後も健康教育のテーマ、実施方法に関しては、学生、教職員のニーズの把握に努めながら、健康の保持増進に努めていきたい。

5. その他の法定健康診断

(1) 特殊健康診断 (相模原キャンパス)

① 特殊健康診断実施者数

(2024年3月31日現在)

	対象者数			受診者数			受診率			
	教職員	学生	合計	教職員	学生	合計	教職員	学生	合計	
春期 特殊健康診断	37	291	328	37	291	328	100.0%	100.0%	100.0%	
内 訳	電離放射線	35	224	259	35	224	259	100.0%	100.0%	100.0%
	有機溶剤	6	-	6	6	-	6	100.0%	-	100.0%
	特定化学物質	9	-	9	9	-	9	100.0%	-	100.0%
	有機溶剤・特化物	-	105	105	-	105	105	-	100.0%	100.0%
秋期 特殊健康診断	35	4	39	35	4	39	100.0%	100.0%	100.0%	
内 訳	電離放射線	33	4	37	33	4	37	100.0%	100.0%	100.0%
	有機溶剤	5	-	5	5	-	5	100.0%	-	100.0%
	特定化学物質	8	-	8	8	-	8	100.0%	-	100.0%
	有機溶剤・特化物	-	-	-	-	-	-	-	-	-

② 電離放射線健康診断結果

(2024年3月31日現在)

	実施者数		有所見者数		有所見率		所見あるも問題なし (ω)		経過観察 (人)		再検査 (人)		病院受診 (人)		
	教職員	学生	教職員	学生	教職員	学生	教職員	学生	教職員	学生	教職員	学生	教職員	学生	
春 期	白血球数・白血球百分率	35	224	3	33	8.6	14.7	3	33	0	0	0	0	0	0
	赤血球数・血色素量・ヘマトクリット値	35	224	3	17	8.6	7.6	3	16	0	1	0	0	0	0
	白内障に関する眼の検査	35	224	0	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0
	皮膚の検査	35	224	1	0	2.9	0.0	1	0	0	0	0	0	0	0
	自覚症状	35	224	2	13	5.7	5.8	2	13	0	0	0	0	0	0
	電離放射線使用による健康障害	35	224	0	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0
秋 期	白血球数・白血球百分率	33	4	3	0	9.1	0.0	3	0	0	0	0	0	0	0
	赤血球数・血色素量・ヘマトクリット値	33	4	2	1	6.1	25.0	2	1	0	0	0	0	0	0
	白内障に関する眼の検査	33	4	0	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0
	皮膚の検査	33	4	0	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自覚症状	33	4	3	0	9.1	0.0	3	0	0	0	0	0	0	0
	電離放射線使用による健康障害	33	4	0	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0

③有機溶剤健康診断結果

※学生は特定化学物質健康診断の結果も兼ねて集計

(2024年3月31日現在)

		実施者数		有所見者数		有所見率		所見あるも問題なし(人)		経過観察(人)		再検査(人)		病院受診(人)	
		教職員	学生	教職員	学生	教職員	学生	教職員	学生	教職員	学生	教職員	学生	教職員	学生
春 期	作業条件の簡易な調査	6	105	3	76	50.0	72.4	-	-	-	-	-	-	-	-
	赤血球数・血色素量	-	105	-	4	-	3.8	-	3	-	1	-	0	-	0
	肝機能検査	2	105	1	5	50.0	4.8	1	0	0	3	0	2	0	0
	尿代謝物検査	3	-	0	-	0.0	-	0	-	0	-	0	-	0	-
	自覚症状	6	105	0	11	0.0	10.5	0	11	0	0	0	0	0	0
	他覚症状	6	105	0	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0
	有機溶剤による健康障害	6	105	0	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0
秋 期	作業条件の簡易な調査	5	-	2	-	40.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	赤血球数・血色素量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	肝機能検査	2	-	1	-	50.0	-	1	-	0	-	0	-	0	-
	尿代謝物検査	2	-	0	-	0.0	-	0	-	0	-	0	-	0	-
	自覚症状	5	-	1	-	20.0	-	1	-	0	-	0	-	0	-
	他覚症状	5	-	0	-	0.0	-	0	-	0	-	0	-	0	-
	有機溶剤による健康障害	5	-	0	-	0.0	-	0	-	0	-	0	-	0	-

④特定化学物質健康診断結果

(2024年3月31日現在)

		実施者数	有所見者数	有所見率	所見あるも問題なし(人)	経過観察(人)	再検査(人)	病院受診(人)
		教職員	教職員	教職員	教職員	教職員	教職員	教職員
春 期	作業条件の簡易な調査	9	5	55.6	-	-	-	-
	自覚症状	9	0	0.0	0	0	0	0
	他覚症状	9	0	0.0	0	0	0	0
	尿中マンデル酸	1	0	0.0	0	0	0	0
	尿中β2ミクログロブリン	1	1	100.0	0	1	0	0
	胸部X線直接撮影	2	0	0.0	0	0	0	0
	白血球数・白血球分画	1	0	0.0	0	0	0	0
	赤血球数・血色素量・ヘマトクリット値	1	0	0.0	0	0	0	0
	肝機能検査	7	3	42.9	2	1	0	0
	血中カドミウム	1	0	0.0	0	0	0	0
	握力	1	0	0.0	0	0	0	0
	鼻の検査	2	0	0.0	0	0	0	0
	皮膚の検査	7	0	0.0	0	0	0	0
	特定化学物質による健康障害	9	0	0.0	0	0	0	0
秋 期	作業条件の簡易な調査	8	4	50.0	-	-	-	-
	自覚症状	8	1	12.5	1	0	0	0
	他覚症状	8	0	0.0	0	0	0	0
	尿中マンデル酸	1	0	0.0	0	0	0	0
	尿中β2ミクログロブリン	1	0	0.0	0	0	0	0
	胸部X線直接撮影	2	0	0.0	0	0	0	0
	白血球数・白血球分画	1	0	0.0	0	0	0	0
	赤血球数・血色素量・ヘマトクリット値	1	0	0.0	0	0	0	0
	肝機能検査	6	2	33.3	2	0	0	0
	血中カドミウム	1	0	0.0	0	0	0	0
	握力	1	0	0.0	0	0	0	0
	鼻の検査	2	0	0.0	0	0	0	0
	皮膚の検査	6	0	0.0	0	0	0	0
	特定化学物質による健康障害	8	0	0.0	0	0	0	0

前期・後期ともに学内で実施した。健康診断受診率は100%であり、有所見者数・有所見率は前年度と比較して大きな変化はなく、業務起因性を有すると判断されたケースはなかった。

(2) 雇入れ健康診断

①雇入れ時健康診断受診者数

外部医療機関にて実施

(2023年度採用月でかつ)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本部	15	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	16
大学	75	3	2	1	0	8	13	3	0	0	2	0	107
高等部	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
中等部	3	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	6
初等部	5	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	6
幼稚園	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
合計	107	3	2	2	0	8	15	4	0	0	2	1	144

②雇入れ時健康診断有所見者の経過

検査項目	有所見者数	再検査	経過観察	病院受診	病院受診結果
胸部レントゲン	20	0	16	4	異常なし3名、未報告1名
心電図	16	0	14	2	異常なし1名、未報告1名
血圧	10	0	10	0	
尿検査	3	0	3	0	
血液検査	41	0	35	6	異常なし1名、治療開始：貧血2名、未報告3名(脂質異常症2名・貧血1名)

(3) 特定業務従事者健康診断

2023年度の特定業務従事者健康診断の対象者は4名で、受診率は100%であった。有害な業務に係る歯科健康診断の対象者は前期1名、後期0名で、受診率は100%であった。春は特殊健康診断時に、秋は教職員定期健康診断時に併せて実施した。

6. 健康診断証明書発行業務

(1) 青山キャンパス健康診断証明書発行枚数

(2024年3月31日現在)

内訳		月													合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
自動発行内訳	1年生	人数	10	13	22	11	6	3	12	9	5	3	2	0	96
		枚数	11	13	23	11	6	3	12	9	5	5	2	0	100
	2年生	人数	6	11	7	6	1	3	1	3	3	1	0	2	44
		枚数	6	11	7	6	1	3	1	3	3	1	0	2	44
	3年生	人数	4	8	8	2	0	0	4	5	5	4	9	29	78
		枚数	4	8	8	2	0	0	4	5	9	4	10	31	85
	4年生	人数	85	158	112	85	26	69	39	17	13	13	17	10	644
		枚数	107	183	133	90	27	76	42	18	13	15	17	11	732
	大学院生	人数	2	11	7	5	2	1	2	0	4	1	4	5	44
		枚数	2	11	10	5	2	1	2	0	4	1	4	5	47
	科目等履修生	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		枚数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	窓口発行 含英文証明書	人数	0	2	0	0	0	1	1	2	0	0	0	1	7
		枚数	0	2	0	0	0	2	1	2	0	0	0	1	8
合計	人数	107	203	156	109	35	77	59	36	30	22	32	47	913	
	枚数	130	228	181	114	36	85	62	37	34	26	33	50	1016	

(2) 相模原キャンパス健康診断証明書発行枚数

(2024年3月31日現在)

内訳		月													合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
自動発行内訳	1年生	人数	2	5	5	5	3	5	3	3	1	0	1	0	33
		枚数	2	5	5	6	3	5	4	3	1	0	1	0	35
	2年生	人数	1	2	2	3	0	0	0	0	0	1	0	0	9
		枚数	1	2	2	3	0	0	0	0	0	1	0	0	9
	3年生	人数	1	2	3	3	0	0	0	4	2	7	4	11	37
		枚数	1	2	4	3	0	0	0	4	2	7	6	12	41
	4年生	人数	25	54	35	17	11	27	13	7	2	1	2	4	198
		枚数	27	63	36	17	13	27	13	8	2	1	2	4	213
	大学院生	人数	9	21	4	9	2	2	9	4	0	4	6	6	76
		枚数	9	24	5	9	2	2	9	4	0	4	6	6	80
	科目等履修生	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		枚数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	窓口発行 含英文証明書	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		枚数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	人数	38	84	49	37	16	34	25	18	5	13	13	21	353	
	枚数	40	96	52	38	18	34	26	19	5	13	15	22	378	

両キャンパスとも2022年度に比較し、証明書発行人数および証明書発行枚数が減少している。青山キャンパスでは、4年生の証明書発行人数・証明書発行枚数ともに半減、相模原キャンパスでは3年生・4年生の証明書発行人数および証明書発行枚数が減少傾向であった。健康診断証明書の使用用途は主に就職活動であるが、減少の要因は不明である。

7. 救急処置・検査等保健管理センター利用状況

(1) 青山キャンパス

(学生・教職員別利用者数)

(2024年3月31日現在)

所属		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
学生	男		211	279	228	202	7	76	151	116	149	118	14	26	1577
	女		333	355	324	262	14	101	193	144	160	128	14	24	2052
教職員	男		49	49	33	35	23	43	48	60	43	55	32	35	505
	女		45	31	32	27	18	49	79	59	47	34	36	35	492
その他			2	5	3	2	1	4	0	2	3	3	5	17	47
合計			640	719	620	528	63	273	471	381	402	338	101	137	4673

(検査・処置等利用内容別件数)

検査処置項目		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
検査	血圧		15	31	39	19	5	5	4	1	1	1	0	1	122
	検尿		0	2	0	0	0	0	31	6	0	0	1	0	40
	検便		1	0	0	0	0	0	20	0	0	0	0	0	21
	血液		0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	視力		16	92	57	37	2	13	7	5	5	6	1	3	244
	心電図		0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	計測		32	220	146	96	8	23	33	30	22	10	2	5	627
	聴力		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自動血圧計		102	82	93	93	29	58	55	19	26	20	11	17	605
	体脂肪計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
処置	投薬		2	0	0	2	1	0	3	1	0	1	1	0	11
	処置		29	29	28	31	2	15	34	23	28	15	5	12	251
	ベッド休養		37	62	64	52	3	31	50	39	23	7	4	5	377
	医師面談		114	156	71	57	7	17	14	36	36	29	20	30	587
	病院紹介		15	9	15	15	1	3	8	23	8	2	1	2	102
	救急車		1	1	1	0	1	2	0	0	2	1	0	2	11
	病院搬送		3	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	7
	保健指導		2	1	3	8	2	5	0	16	2	6	1	0	46
	問診調査・相談		209	375	318	286	48	140	212	99	113	88	38	58	1984
	電話・メール対応		232	158	130	98	7	71	62	50	59	57	31	36	991
合計		810	1220	966	795	116	383	534	348	325	244	116	171	6028	

(症状・疾患別利用者数)

症状・疾患		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
症状・所見	胃腸症状		5	12	16	10	0	3	2	5	3	9	1	2	68
	感冒		14	19	19	32	2	9	22	32	28	3	0	0	180
	頭痛		3	19	23	7	0	3	5	1	4	3	2	2	72
	体調不良		25	30	39	24	7	24	20	16	20	7	5	8	225
	生理痛		10	3	3	7	0	3	5	4	2	1	0	1	39
	外傷		15	13	13	15	0	3	12	8	9	6	5	4	103
	腰痛・筋肉痛		2	1	3	4	0	2	2	0	0	0	0	0	14
	熱傷		0	0	0	0	0	1	3	2	1	0	1	0	8
	COVID-19関連		111	139	253	231	15	42	65	33	29	37	0	0	955
	その他		13	10	9	10	1	40	129	112	145	138	4	2	613
その他の疾患	皮膚疾患		5	3	2	2	0	1	0	3	12	0	1	0	29
	昆虫刺傷		1	0	0	2	1	1	4	1	0	0	0	0	10
	整形外科疾患		10	8	16	14	1	9	10	9	9	4	0	5	95
	眼疾患		1	0	1	1	0	1	2	1	1	0	0	0	8
	耳鼻科疾患		3	4	3	7	0	4	2	2	0	1	0	0	26
	泌尿器科疾患		0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
	口腔疾患		0	0	2	1	1	0	0	1	0	0	0	0	5
	精神衛生		17	36	13	17	0	10	31	21	11	9	4	9	178
合計		235	297	415	384	28	156	314	251	276	218	23	33	2630	

2023年度の保健管理センター利用者数は4673名であった。2023年5月にCOVID-19の感染症法上の位置づけが5類に移行したことにより、COVID-19関連の対応は2022年度の8475件から955件と大幅に減少し、それに伴う問診調査・相談者数、電話・メール対応数も減少した。対面授業がメインになり、休養室利用者が2022年度306件から377件と増加している。

(2) 相模原キャンパス

(学生・教職員別利用者数)

(2024年3月31日現在)

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
所属	学生	77	149	93	90	11	31	48	46	36	51	5	7	644
	教職員	12	10	6	10	4	14	29	31	29	13	10	19	187
	その他	0	0	3	2	1	0	3	0	3	1	0	3	16
合計		208	216	149	148	22	71	121	148	116	104	29	38	1370

(検査・処置等利用内容別件数)

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
検査	血圧	3	3	11	8	1	6	8	7	6	1	0	2	56
	検尿	1	2	0	1	0	2	16	2	0	0	1	0	25
	検便	0	0	0	0	0	5	12	1	0	0	1	0	19
	血液	0	3	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	6
	視力	3	44	12	15	2	3	1	2	0	0	0	0	82
	心電図	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計測	5	97	52	45	4	17	20	20	11	7	2	2	282
	聴力	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自動血圧計	29	50	49	58	5	42	43	51	29	53	42	52	503
体脂肪計	3	0	13	11	0	7	0	6	4	5	0	0	49	
処置	投薬	3	2	5	2	0	2	1	0	2	2	0	0	19
	処置	11	14	15	13	2	6	12	10	5	8	3	2	101
	ベッド休養	2	6	7	8	1	6	6	5	5	5	0	1	52
	医師面談	67	61	34	22	2	13	12	21	14	13	3	8	270
	病院紹介	10	5	3	6	1	3	9	12	5	3	2	0	59
	救急車	0	0	1	0	0	1	1	1	0	0	0	1	5
	病院搬送	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2
	保健指導	0	0	7	6	0	1	0	28	9	7	1	2	61
	問診調査・相談	117	159	113	126	16	55	85	85	98	92	26	32	1004
電話・メール対応	41	13	9	13	6	3	3	8	7	10	4	2	119	
合計	295	459	333	334	40	172	230	260	196	206	85	104	2714	

(症状・疾患別利用者数)

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
症状・所見	胃腸症状	0	1	2	2	0	1	3	3	4	2	0	0	18
	感冒	1	2	8	2	2	2	4	1	1	2	1	1	27
	頭痛	1	0	7	5	0	4	3	3	2	2	0	2	29
	体調不良	3	4	5	11	1	6	3	8	2	1	0	1	45
	生理痛	2	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	5
	外傷	5	7	8	6	1	4	5	3	2	4	2	0	47
	腰痛・筋肉痛	1	1	3	1	0	0	0	0	0	1	0	0	7
	熱傷	2	2	1	1	0	0	5	1	0	0	0	0	12
	COVID-19関連	38	18	26	64	8	9	11	3	1	10	0	0	188
	その他	5	12	15	8	1	10	25	23	38	16	3	1	157
	その他の疾患	皮膚疾患	0	2	0	0	0	1	0	0	1	1	1	0
昆虫刺傷		0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
整形外科疾患		1	1	1	1	0	0	3	4	2	1	0	2	16
眼疾患		0	1	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	4
耳鼻科疾患		0	0	0	0	1	0	1	1	1	1	0	0	5
泌尿器科疾患		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
口腔疾患		0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
精神衛生		9	10	10	7	1	7	8	5	8	11	4	2	82
合計	68	61	89	109	15	44	72	57	63	52	11	9	650	

2023年5月にCOVID-19の感染症法上の位置づけが5類に移行したことにより、2023年度はCOVID-19に関連した電話対応件数が大幅に減少。保健管理センターの利用者数は総体的に減少したが、それ以外の利用状況は、前年度と比較し大きな変化はなかった。前年度に引き続き、フォローアップ健診を希望する学生が一定の割合でいたため、保健管理センター内でも対応した。

8. 各キャンパス業務内容利用状況

(1) 青山キャンパス

①保健管理センター全来室者数

(2024年3月31日現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
定期健康診断者数	8111	-	-	-	-	624	-	-	-	-	-	-	8735	
フォローアップ 健診者数	学生	30	200	92	61	5	21	14	4	5	6	1	3	442
	教職員	-	-	-	-	-	-	4	6	6	11	14	-	41
外部受診者数	3	2	2	1	1	0	0	0	0	0	1	0	10	
証明書発行者数	0	2	0	0	0	1	1	2	0	0	0	1	7	
救急処置・検査等	640	719	620	528	63	273	471	381	402	338	101	137	4673	
自動血圧計	102	82	93	93	29	58	55	19	26	20	11	17	605	
合 計	8856	805	715	622	93	956	527	402	428	358	113	155	14030	

*フォローアップ 健診者数は外部医療機関で実施のため合計には含まず

②精神科医面談者数*教職員の面談にはセカンドグリーも含む

(2024年3月31日現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
学生	4	7	4	2	0	1	6	3	2	5	1	4	39
教職員	8	8	8	12	2	13	12	6	10	11	10	11	111
合 計	12	15	12	14	2	14	18	9	12	16	11	15	150

③事故・病院搬送及び救急車依頼件数

(2024年3月31日現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
身 分	学生	3	1	1	1	1	2	1	0	2	2	0	1	15
	教職員	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	その他	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
合 計	4	2	1	1	1	2	1	0	2	2	0	2	18	
原 因	事故	1	1	1	0	0	2	1	0	0	1	0	0	7
	疾病	3	1	0	1	1	0	0	0	2	1	0	2	11
対 応	救急車依頼	1	1	1	0	1	2	0	0	2	1	0	2	11
	病院搬送	3	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	7
合 計	4	2	1	1	1	2	1	0	2	2	0	2	18	

2023年5月7日までは、COVID-19の感染法上の位置づけが2類相当だったため、4月に実施した学生定期健康診断を受診できなかった学生にはコロナ対策の一環として引き続きフォローアップ健診の機会を設け、442名が受診した。学生定期健康診断受診者は2022年度に比較し271名増加したが、フォローアップ健診受診者は135名減少した。9月に実施した教職員定期健康診断は平常時の方法で実施し、受診者は2022年度に比較し33名増加したが、受診の機会を増やす目的で実施している教職員のフォローアップ健診受診者は6名減少した。精神科医との面談者数は、学生に関しては2022年度とほぼ同数だが、教職員に関しては2022年度の99件から111件と増加している。また、救急車要請、病院搬送件数も2022年度の11件から18件に増加している。学生の救急車要請の要因は、外傷が4件、持病によるものが2件、体調不良が3件であったが、医療機関に速やかに搬送され、治療に繋がっている。

(2) 相模原キャンパス

①保健管理センター全来室者数

(2024年3月31日現在)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
定期健康診断者数		3886	327	4	0	0	355	3	1	0	0	0	0	4576
フォローアップ 健診者数	学生	8	93	26	23	3	7	1	7	3	1	1	0	173
	教職員	-	-	-	-	-	-	3	2	2	2	7	0	16
外部受診者数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
証明書発行者数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
救急処置・検査等		208	216	149	148	22	71	121	148	116	104	29	38	1370
自動血圧計		29	50	49	58	5	42	43	51	29	53	42	52	503
合 計		4123	593	202	206	27	468	167	200	145	157	71	90	6449

*フォローアップ健診者数は外部医療機関で実施のため合計には含まず

②精神科医面談者数

(2024年3月31日現在)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
学生		5	5	5	2	0	3	4	2	3	6	1	1	37
教職員		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		5	5	5	2	0	3	4	2	3	6	1	1	37

③事故・病院搬送及び救急車依頼件数

(2024年3月31日現在)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身 分	学生	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	3
	教職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	1	4
合 計		0	0	1	0	0	1	2	1	1	0	0	1	7
原 因	事故	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	3
	疾病	0	0	1	0	0	1	1	1	0	0	0	0	4
対 応	救急車依頼	0	0	1	0	0	1	1	1	0	0	0	1	5
	病院搬送	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2
合 計		0	0	1	0	0	1	2	1	1	0	0	1	7

2023年度も、学生・教職員共に一定数がフォローアップ健診を利用している。保健管理センターが介入した救急車要請件数は5件、病院搬送数2件であった。いずれも速やかに医療機関に搬送され、治療に繋がっている。

9. 行事のための救急待機保健管理センター利用状況

2023年日付	キャンパス	行事	男	女	合計	症状・所見
4/1(土)	青	入学式	2	7	9	体調不良(4)生理痛(2)外傷(2)相談(1)
5/27(土)	相	ペアレントウィークエンド企画キャンパス見学会	1	0	1	健康相談(1)
6/10(土)	青	ペアレントウィークエンド企画キャンパス見学会	0	0	0	
7/9(日)	相	オープンキャンパス	0	0	0	
7/15(土)	青	大学院説明会	0	0	0	
8/1(火)・2(水)	青	オープンキャンパス	0	1	1	
8/22(火)	青	Aoyama Summer Campus Tour	0	0	0	
9/1(金)・2(土)	相	理工学研究科入試	0	0	0	
9/2(土)	青・相	社会情報学研究科入試	0	0	0	
9/23(土)	青	大学同窓祭	1	0	1	外傷(1)
9/30(土)	青	9月学部・大学院学位授与式	0	0	0	
10/7(土)・28(土)	青	2024年度入学者選抜(年内実施)	0	0	0	
10/7(土)・8(日)	相	相模原祭	4	5	9	外傷(3)火傷(3)胃腸症状(1) 体調不良(1)その他(1)
10/28(土)・11/23(木祝)	相	2024年度入学者選抜入試(年内実施)	0	0	0	
11/3(金)～5(日)	青	青山祭	7	9	16	感冒(3)外傷(4)捻挫・打撲(1) 火傷(3)その他(5)
11/18(土)	青	ペアレントウィークエンド企画 秋のキャンパス見学会	0	0	0	
11/23(木祝)・25(土)	青	2024年度入学者選抜(年内実施)	0	0	0	
12/2(土)	相	理工学研究科入試	0	0	0	
12/9(土)	青	2024年度入学者選抜(年内実施)	0	0	0	
1/13(土)・14(日)	青	大学入学共通テスト	1	1	2	感冒(1)体調不良(1)
1/27(土)	青・相	社会情報学研究科入試	0	0	0	
2/7(水) 9(金)～11(日) 13(火)～15(木) 17(土)～19(月)	青	一般選抜入試	17	11	28	感冒(7)胃腸症状(9) 体調不良(3)外傷(3) その他(6)
3/16(土)	相	AOGAKU OPEN DAY	0	1	1	捻挫(1)
3/20(水)	青	AOGAKU OPEN DAY 学院創立150周年テーマソング・PV制作	0	1	1	捻挫・打撲(1)
3/25(月)	青	学部・大学院学位授与式	2	2	4	感冒(1)生理痛(1)体調不良(1)その他(1)
3/30(土)	青	マレイ記念館寄付者対象「内覧会」	0	0	0	

10. 各種情報処理

(1) 学生健康診断処理関係

実施年月	処理内容	保健管理センター処理	事務システム部処理
2023年	学生健康診断データ(HCCALT)アップデート処理		4/12
	1回目春プリントファイル更新処理		4/12
	学生定期健康診断有所見者リスト出力処理	4/13	
	2回目春プリントファイル更新処理		4/24
	健康診断結果通知打ち出し処理	4/24	
	健康診断証明書ファイル作成		4/24
10月	3回目春プリントファイル更新処理		10/27

実施年月	処理内容	保健管理センター処理	事務システム部処理	
2020年	2月	2023年度版Web健康調査票表示期間設定(在校生)	2/15 (3/1~3/15に設定)	
		Web健康調査票バックアップ	2/15	
		Web健康調査票次年度用処理		2/29
	3月	学生身分異動統計処理	3/14	
		2024年度版Web健康調査表示期間設定(新入生)	3/18 (4/1~4/15に設定)	
		学籍新年度処理		3/23
		学生健康診断対象名簿作成処理	3/25	
		SANSHOUDB新年度学籍情報参照開始		3/26
		新年度離籍分離処理・モテータ離籍分離処理・保留データ離籍分	3/27	
		2023年度版Web健康調査離籍者削除処理		3/27

(2) 教職員健康診断処理関係

実施年月	処理内容	保健管理センター処理	人事部処理	
2020年	6月	人事部人事課より教職員退職者・定期健康診断受診対象者リスト提供		6/12
		教職員健康診断Accessデータ作成処理	6/22	
	9月	人事部給与課より6月以降就任、退職者リスト提供		9/13
		教職員健康診断Accessデータ更新処理	9/14	
	10月	教職員健康診断アップデート処理	10月中旬	
		教職員有所見者呼出しリスト出力処理	10月中旬~通年	
		人間ドック結果用Accessデータ作成処理、適宜更新	10月中旬~通年	
		私学共済提出用健康診断結果処理	10月中旬~通年	

1 1. 全国保健管理研究集会研究発表

保健管理センターでは、年に1回開催される全国大学保健管理研究集会において研究発表を行っている。2023年度は「新型コロナウイルス感染症流行下の大学生の生活習慣とBMIの変化」「睡眠状況の変化がBMIに及ぼす影響について」の演題で発表を行った。

年度 (全国保健管理研究集会開催回)	研究発表演題
2012年度(第50回)	「大学生のインターネット依存と疲労自覚症状に関する実態調査」
2013年度(第51回)	「大学生におけるインターネット依存と学年ならびに日常生活状況の関連性に関する調査」
2014年度(第52回)	「大学生の進級失敗リスクとインターネット依存」
2015年度(第53回)	「大学新入生における薬物使用リスクに関する研究」
2016年度(第54回)	「インターネット依存の大学在学中の発症に影響を及ぼす因子に関する検討」
2017年度(第55回)	「学生食堂を利用した生活習慣病予防教育の試み」
2018年度(第56回)	「性教育に対する普及啓発イベントの試みと学生の反応について」
2019年度(第57回)	「女性教職員における睡眠実態に関する調査～三次元睡眠尺度を用いて～」
2020年度(第58回)	①「本学教職員の睡眠に関する実態調査」 ②「性教育に対する普及啓発イベントの試みと学生の反応について」
2021年度(第59回)	①「新型コロナウイルスが大学生に及ぼす心理的影響について」 ②「大学生の新型コロナウイルス感染症対策に関する意識と行動」
2022年度(第60回)	「本学教職員の新型コロナウイルス感染症に対する意識と行動の実態調査 ～新型コロナウイルス恐怖尺度を用いて～」
2023年度(第61回)	①「新型コロナウイルス感染症流行下の大学生の生活習慣とBMIの変化」 ②「睡眠状況の変化がBMIに及ぼす影響について」